

イベント報告

新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期していた磯の観察会イベントを3年ぶりに開催しました。その様子を簡単に紹介します。報告の詳細は当財団のウェブサイト (<https://www.rimi.or.jp/event/>) でご覧いただけます。

親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング2022

2022年5月21日に観音崎自然博物館（神奈川県横須賀市）にて親子向け観察会を行いました。

久しぶりのわくわくウォッチングは例年通り、観音崎自然博物館の山田和彦氏はじめ、スタッフの皆さまに実施していただきました。参加人数を例年より減らして行い、当日の参加者は30名（中学生以下9名、大人21名）でした。

今年は干潮がお昼ごろだったため、最初に貝類（ウミウシを含む）のレクチャーを受けた後、ユカリの海藻の標本づくりを行いました。レクチャーの際には、ウミウシが好きなお子さんも多く、大人顔負けの知識を披露してくれました。

午後から磯に出て観察を行いました。今回は海水の透明度が高く、また天気も観察に適した曇り空だったので、夢中で観察と採集を行い、予定の時間を超えるほどでした。ウミウシを中心とした貝類やカニなどの甲殻類など、さまざまな生物が採集されました。最後に容器に入れて観察しながら説明を聞いて（図1）、観察会を終えました。



図1 採集した生き物をケースに入れて観察中

磯の観察会「ウミウシの観察」

2022年6月18日（土曜）に横須賀市自然・人文博物館付属天神島臨海自然教育園（神奈川県）にて、大人向け観察会「ウミウシの観察」を行いました。

当日はやや雨が心配な曇り空でしたが、無事に実施することができました。参加者は20名で、四国や関西からも参加いただきました。この観察会は中学生以上を対象とし、観察する生物を貝類の「ウミウシ」中心としたものです。講師の萩原清司氏（同博物館）にウミウシについてのレクチャーをいただき、そのあと、磯に出てウミウシの探し方などの説明を聞きながら観察を行いました。

この日は潮がよく引いたことと、曇り空のおかげで、ここ最近では1番という収穫でした。たくさんのアオウミウシをはじめ、オトメウミウシ、サラサウミウシ、リュウモンイロウミウシ、オカダウミウシなど15種（+1色彩変異型）が観察されました（図2）。

午後にはオプションとして、天神島臨海自然教育園のツアーを行い、植物、地質や軽石、鳥のお話など幅広く貴重なお話を聞くことができました。



図2 採集されたウミウシ類（アオウミウシが多数）

これらの観察会を行って、改めて野外に出て生き物に触れる大切さを感じました。ご参加いただいた皆さま、また実施にご協力いただいたスタッフの皆さまありがとうございました。現在は来年度の観察会を計画中です。お楽しみに。

編集後記

今号の表紙はヒメコモンウミウシです。観察会でよく見かけるコモンウミウシに似ていますが、鰓が白色であることで見分けることができます。写真を撮影された今本さんによると、奄美ではコモンウミウシではなく、ヒメコモンウミウシを普通に見かけるそうです。関東ではヒメコモンウミウシが少ないので、地域によっても出現が異なっていておもしろいですね。

今年最後の「うみうし通信」発行です。早いもので、もう年末ですね。今年は観察会や野外調査に出ることもでき、少しずつ感覚が戻ってきました。しかし、この2年間で着ていなかった自分のウエットスーツがすっかり固くきつくなってしまい、着るのが大変な状況になっていました。2023年もより活発な年にできたらいいなと思います。